



15 枚目 2008 年 1 月 2 日 評価：



19 枚目 2008 年 1 月 30 日 評価： -



16 枚目 2008 年 1 月 9 日 評価：



20 枚目 2008 年 2 月 6 日 評価： -



17 枚目 2008 年 1 月 16 日 評価：



21 枚目 2008 年 2 月 13 日 評価：？



18 枚目 2008 年 1 月 23 日 評価：



22 枚目 2008 年 2 月 20 日 評価： -

図 4.3-8 (3) 羽咋一ノ宮海岸 (地点 5) の定点観測結果



23 枚目 2008 年 2 月 27 日 評価： -



26 枚目 2008 年 3 月 19 日 評価： -

第 3 回クリーンアップ調査



27 枚目 2008 年 3 月 26 日 評価：



24 枚目 2008 年 3 月 5 日 評価：？



28 枚目 2008 年 4 月 2 日 評価： -



25 枚目 2008 年 3 月 12 日 評価： -



29 枚目 2008 年 4 月 9 日 評価： -

図 4.3-8 (4) 羽咋一ノ宮海岸 (地点 5) の定点観測結果



30 枚目 2008 年 4 月 16 日 評価： -



33 枚目 2008 年 5 月 7 日 評価： -

第 4 回クリーンアップ調査



34 枚目 2008 年 5 月 28 日 評価： -



31 枚目 2008 年 4 月 23 日 評価： -



35 枚目 2008 年 6 月 4 日 評価： -



32 枚目 2008 年 4 月 30 日 評価： -



36 枚目 2008 年 6 月 11 日 評価： -

図 4.3-8 (5) 羽咋一ノ宮海岸 (地点 5) の定点観測結果



37 枚目 2008 年 6 月 18 日 評価： -



41 枚目 2008 年 7 月 16 日 評価： ×



38 枚目 2008 年 6 月 25 日 評価：

### 第 5 回クリーンアップ調査



39 枚目 2008 年 7 月 2 日 評価： -



42 枚目 2008 年 7 月 23 日 評価： -



40 枚目 2008 年 7 月 11 日 評価：



43 枚目 2008 年 7 月 30 日 評価： -

図 4.3-8 (6) 羽咋一ノ宮海岸 (地点 5) の定点観測結果



44 枚目 2008 年 8 月 10 日 評価： -



48 枚目 2008 年 9 月 3 日 評価： -



45 枚目 2008 年 8 月 13 日 評価： -



49 枚目 2008 年 9 月 10 日 評価： -



46 枚目 2008 年 8 月 24 日 評価： ×



50 枚目 2008 年 9 月 17 日 評価： -



47 枚目 2008 年 8 月 27 日 評価： -

### 第 6 回クリーンアップ調査

図 4.3-8 (7) 羽咋一ノ宮海岸 (地点 5) の定点観測結果



51 枚目 2008 年 9 月 24 日 評価： -



55 枚目 2008 年 10 月 22 日 評価： -



52 枚目 2008 年 10 月 1 日 評価： -



56 枚目 2008 年 10 月 29 日 評価：

・観測終了



53 枚目 2008 年 10 月 8 日 評価： -



54 枚目 2008 年 10 月 15 日 評価： -

図 4.3-8 (8) 羽咋一ノ宮海岸 (地点 5) の定点観測結果

### 4.3.2 漂流・漂着メカニズムの推定結果

#### (1) 気象・海象条件との関連性の検討

##### a. 風況の現況の解析

共通調査の各調査回りの間の期間について、風配図を図 4.3-9 に示す。調査対象地域の海岸の向きと、風配図から読み取った調査期間の卓越風向を表 4.3-1 に示す。ここでの卓越風向は、年間を通じて東側からの風向になっており、風配図からは季節風の影響がみられなかった。これは、風配図が風向別の頻度のみを表しており、風速の強弱が考慮されていないことによるものと考えられる。そのため、風配図による卓越風向と強風時の風向は必ずしも一致しない。

そこで、各期間の最大風速の風向について、表 4.3-2 に示す。データは、図 4.3-9 及び表 4.3-1 に使用したデータと同じである。風向が複数あるのは、各期間で同じ最大風速値が複数あったことによる。これをみると、卓越風向では東側からの風向となっていたのに対し、年間を通じて西側からの風向となっている。このことから、風の影響を検討する際には、卓越風向だけでなく風速も合わせて考慮する必要があること、強風時の風速について検討する必要があることがわかった。

この点を考慮するため、6m/s 以上(定点観測調査で、ゴミが漂着するケースがみられた)の風速に限ってその頻度と、風速×吹送時間を風配図上に示す(図 4.3-10)。この図では経年変化も分かるように、今回の調査期間も含めて、過去5年間の同期間について示す。

今回の調査期間(図 4.3-10 の最下段の図)を見ると、全データの風配図(図 4.3-9)の形状とは大きく変化していることが分かる。特に第1回調査(2007年10月)～第4回調査(2008年4月)の期間については、図 4.3-9 の風配図と異なって南西～北西の風が卓越しており、冬季の季節風の要素も現れている。



図 4.3-9 各調査期間における風向の状況

表 4.3-1 海岸の向きと卓越風向の関係

海岸名	海岸の向き	卓越風向 (2007/10/21- 2007/12/3)	卓越風向 (2007/12/4- 2008/2/29)	卓越風向 (2008/3/1- 2008/4/15)	卓越風向 (2008/4/16- 2008/7/17)	卓越風向 (2008/7/18- 2008/9/21)
石川県：羽咋 ・滝海岸	西	東南東～東	東～東北東	東～東北東	東	東

表 4.3-2 海岸の向きと最大風速時の風向

海岸名	海岸の向き	最大風速の 風向 (2007/10/21- 2007/12/3)	最大風速の 風向 (2007/12/4- 2008/2/29)	最大風速の 風向 (2008/3/1- 2008/4/15)	最大風速の 風向 (2008/4/16- 2008/7/17)	最大風速の 風向 (2008/7/18- 2008/9/21)
石川県：羽咋 ・滝海岸	西	西南西	北西、西南西、 西	西南西	西	南西、西南西

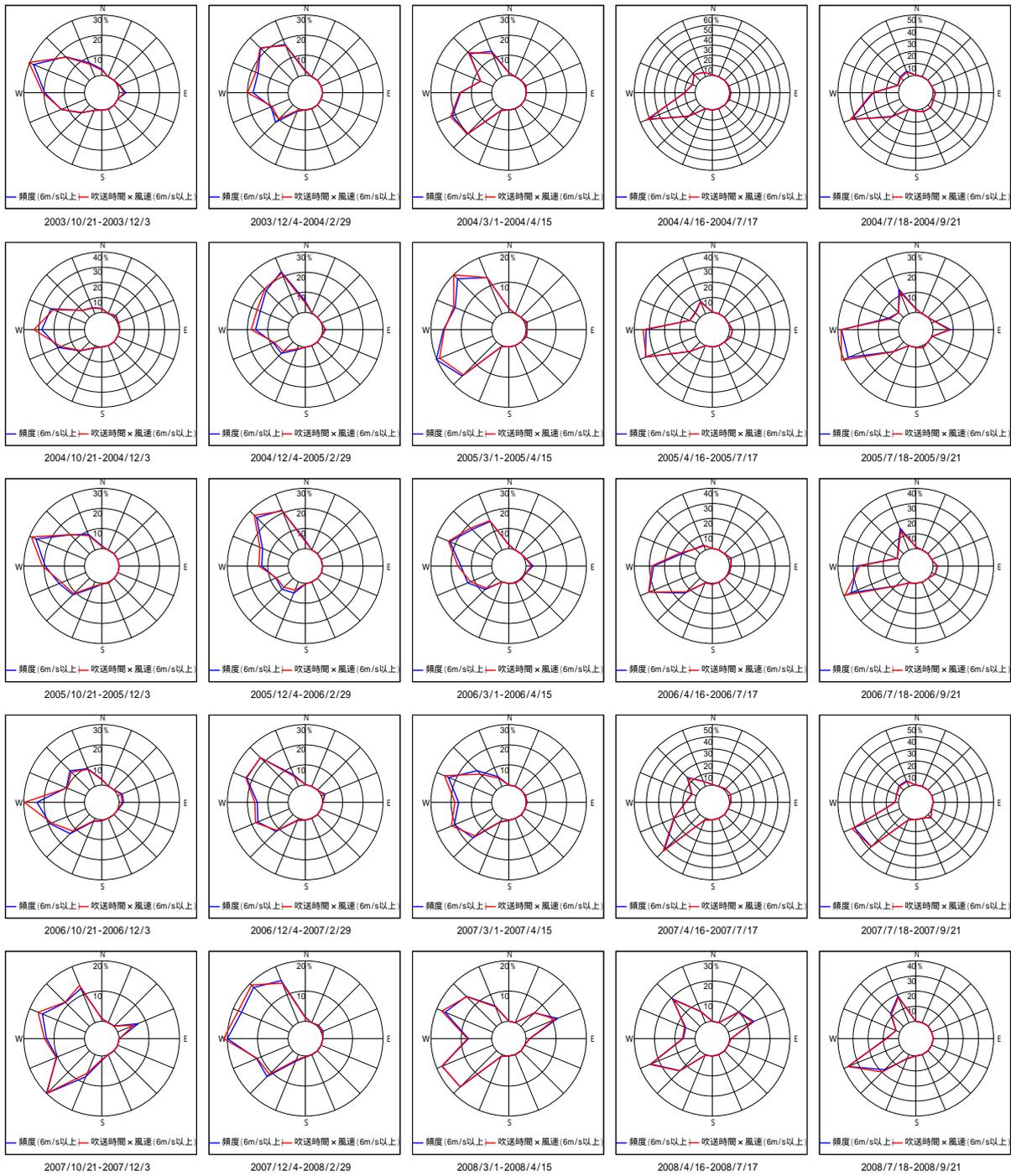


図 4.3-10 最近5年間の風配図及び風速×吹送時間（風速6m/s以上）の経年変化

## b. 風況と波高との関連性の検討

前項で示したように、第1回調査（2007年10月）～第4回調査（2008年4月）の期間では、風速6m/s以上で西の風が卓越することから、風向が南西～北西の時の風速のみを時間変動図に表示し、さらに波高の時間変動を合わせて示した（図4.3-11）。波高が高くなった時には、南西～北西風が吹いており、両者の変動は相似している。また、第1回調査（2007年10月）～第2回調査（2007年12月）に比較して、第2回調査（2007年12月）～第3回調査（2008年3月）の期間に南西～北西の出現頻度は高くなり、高波高の出現頻度も高くなっている。さらに、第1回調査（2007年10月）～第3回調査（2008年3月）に比較して、第3回調査（2008年4月）～第6回調査（2008年9月）の期間に南西～北西の風速は小さくなり、高波高の出現頻度も低くなっている。波高が高い時期は、その他の時期に比較して海岸のより内陸側まで海水が到達するため、内陸側にも直接ゴミが漂着すると考えられる。また、波のエネルギーが高くなるため、海底に沈んでいたゴミも海岸に打ち上げられやすくなると考えられる。このことから、風・波浪ともに、共通調査期間中では、第1回調査（2007年10月）～第2回調査（2007年12月）や、第2回調査（2007年12月）～第3回調査（2008年3月）の期間でゴミが漂着しやすい条件にあったと考えられる。

漂着ゴミの重量の推移（図4.3-12）をみると、第2回調査（2007年12月）から第3回調査（2008年3月）の秋季から冬季にかけて増加したが、第4回調査（2008年4月）は最も少なくなり、その後、第6回調査（2008年9月）にかけてまた増加した。この時間的変化は、第1回調査（2007年10月）～第2回調査（2007年12月）の期間に比較して、第2回調査（2007年12月）～第3回調査（2008年3月）の期間において海から岸に向かう強い風が卓越していたこと、高波高の出現頻度が高くなっていたことと一致している。さらに、第1回調査（2007年10月）～第3回調査（2008年3月）の期間に比較して、第3回調査（2008年3月）～第4回調査（2008年4月）の期間において海から岸に向かう強い風の頻度が少なくなり、高波高の出現頻度が低くなっていたこととも一致している。よって、漂着ゴミの時間変動に対して、風や波高が要因の一つとなっていると考えられる。他方、第3回調査（2008年3月）～第4回調査（2008年4月）の経過日数は少なく、もともと第4回調査（2008年4月）のゴミの量が少なくなる要素があることから、風や波高だけでなく関連する要因を総合的に検討する必要がある。

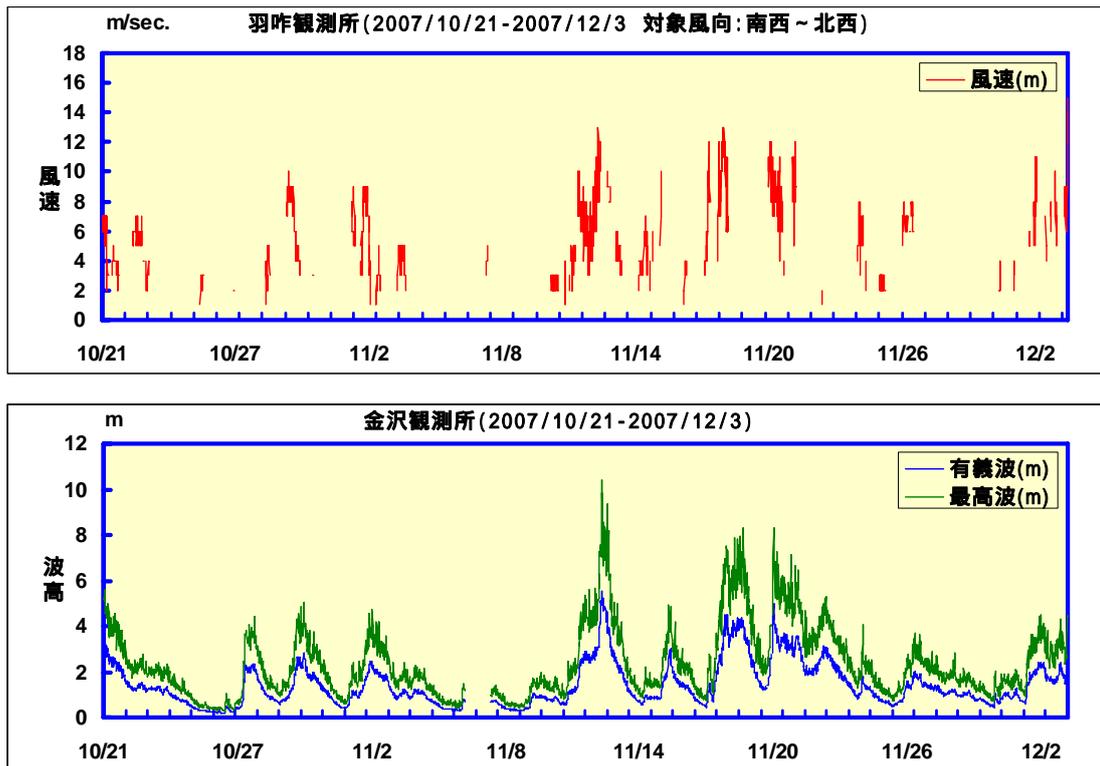


図 4.3-11(1) 風速（南西～北西のみ）及び波高の時間変動（第1回～第2回）

表 4.3-3(1) 定点観測写真でのゴミの漂着状況と気象・海象条件との関連性（第1回～第2回）

写真撮影時期	
潮汐（大潮）	
地点2のゴミ	-                      ×                      -                      -
地点5のゴミ	-                      -                      -                      -                      -

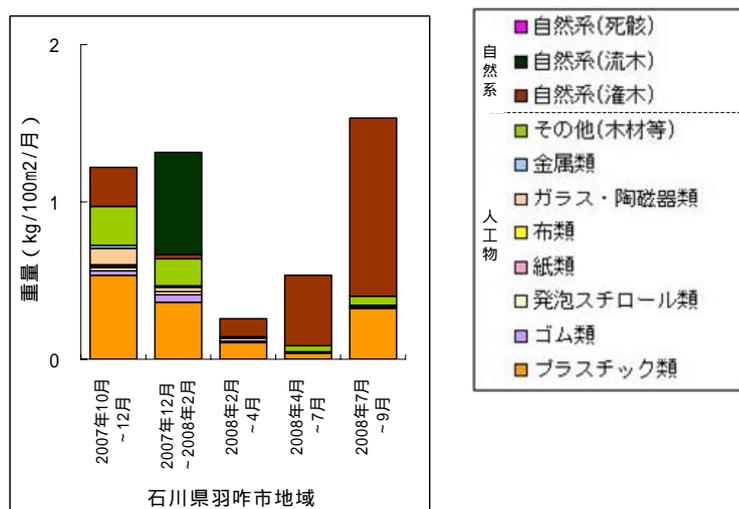


図 4.3-12 共通調査における漂着ゴミの重量の推移  
（第2回調査～第6回調査、人工物+流木・灌木）

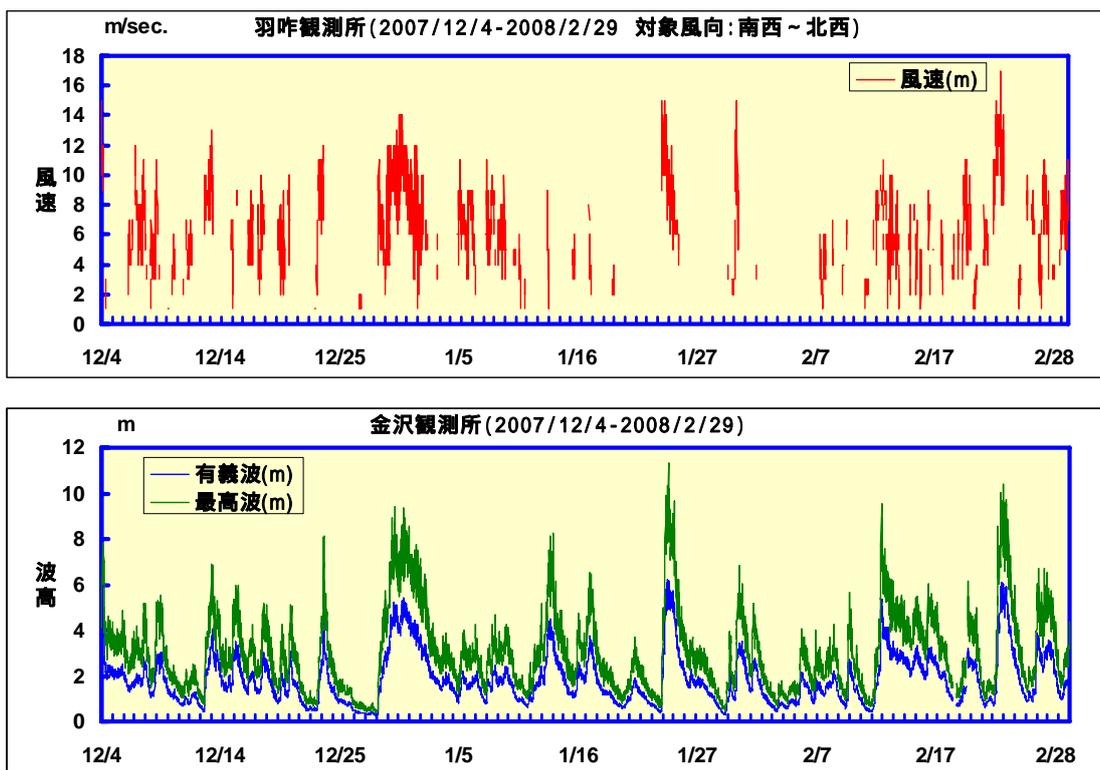


図 4.3-11 (2) 風速 (南西～北西のみ) 及び波高の時間変動 (第2回～第3回)

表 4.3-3(2) 定点観測写真でのゴミの漂着状況と気象・海象条件との関連性 (第2回～第3回)

写真撮影時期	
潮汐 (大潮)	
地点2のゴミ	x            -   -   x   x            -   x            ?   x   x
地点5のゴミ	-   -   -   -                            -   -   ?   -   -

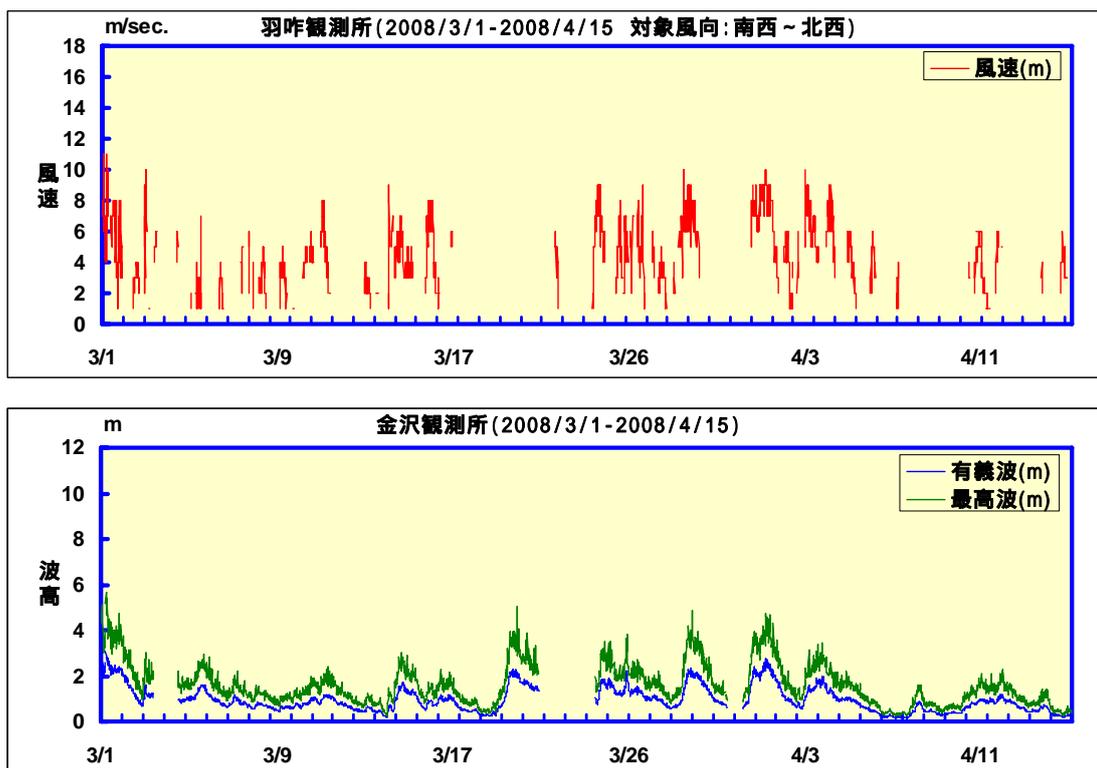


図 4.3-11 (3) 風速（南西～北西のみ）及び波高の時間変動（第3回～第4回）

表 4.3-3(3) 定点観測写真でのゴミの漂着状況と気象・海象条件との関連性（第3回～第4回）

写真撮影時期							
潮汐（大潮）							
地点2のゴミ	?	-	-	×	×	-	-
地点5のゴミ	?	-	-		-	-	-

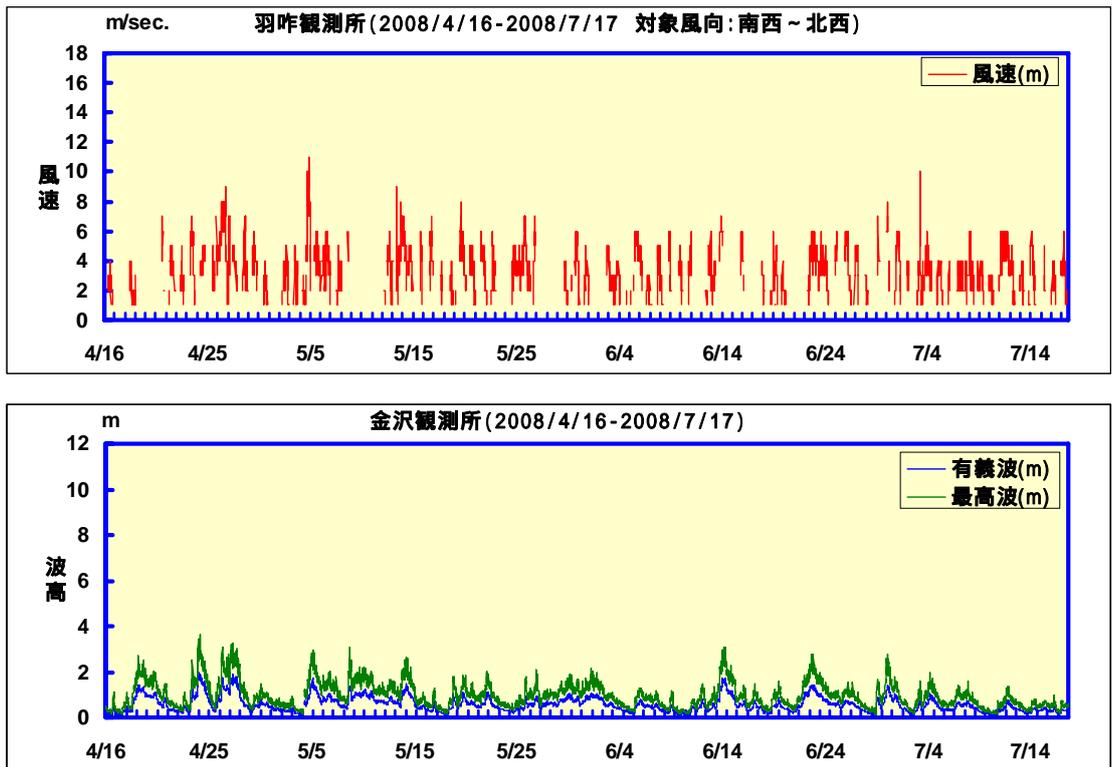


図 4.3-11 (4) 風速 (南西～北西のみ) 及び波高の時間変動 (第 4 回～第 5 回)

表 4.3-3(4) 定点観測写真でのゴミの漂着状況と気象・海象条件との関連性 (第 4 回～第 5 回)

写真撮影時期	
潮汐 (大潮)	
地点 2 のゴミ	- × × × × -
地点 5 のゴミ	- - - - - ×

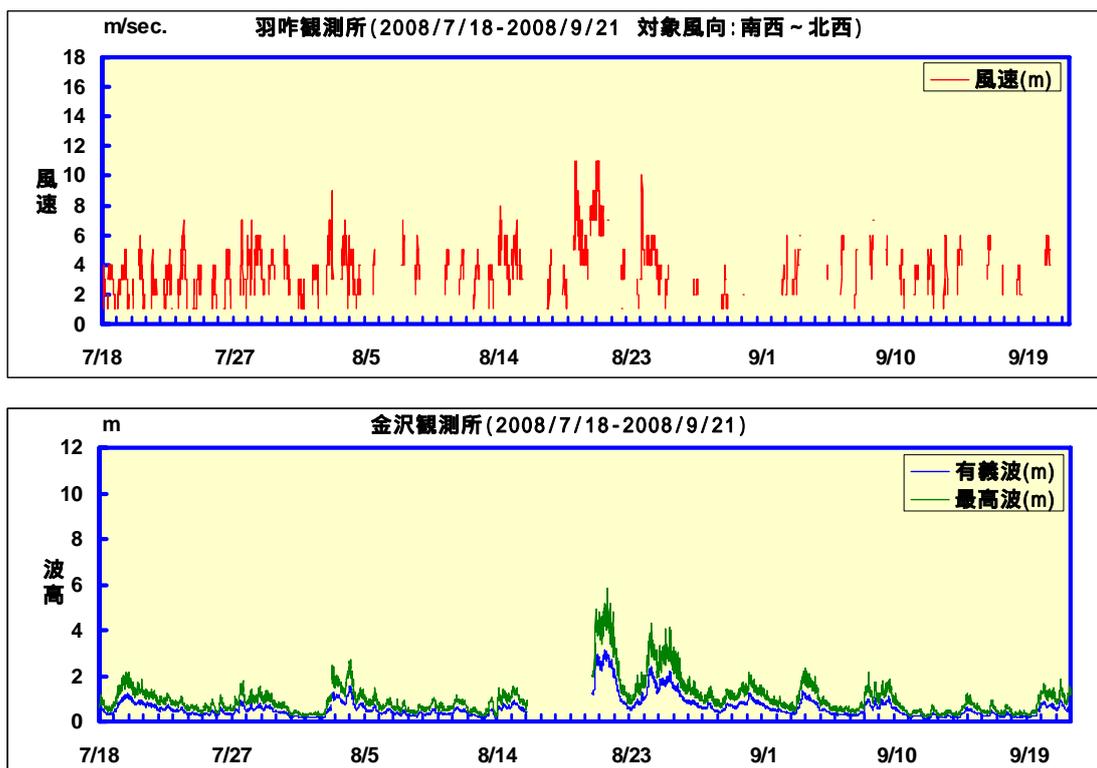


図 4.3-11 (5) 風速（南西～北西のみ）及び波高の時間変動（第5回～第6回）

表 4.3-3(5) 定点観測写真でのゴミの漂着状況と気象・海象条件との関連性（第5回～第6回）

写真撮影時期	
潮汐（大潮）	
地点2のゴミ	- - - - -
地点5のゴミ	- - - - × - - -

### c. 定点観測写真でのゴミの漂着状況と気象・海象条件との関連性

潮位について、共通調査期間の時間変動を図 4.3-13 に、年間を通した時間変動を図 4.3-14 に示す。日本海側であるため潮位の振幅は小さいものの、季節変動があることが分かる。

定点観測写真でのゴミの漂着状況と気象・海象条件との関連性をみるために、風況・波高の時間変動図である図 4.3-11 の横軸の時間軸に一致させて、写真撮影時期を矢印で示し、潮汐の大潮時、ゴミの漂着状況を取りまとめて、表 4.3-3 に示す。ゴミの漂着状況の評価は、「定点観測調査結果」の写真別に示した結果を引用してきた。

これより、秋季から春季まで、風速や波高が大きい時期が比較的多くみられ、これに伴いゴミの漂着もみられた。春季から秋季にかけては、風速や波高は比較的小さくなったが、春季から夏季にかけてはゴミの漂着もみられた。夏季から秋季にかけてはゴミの漂着はあまりみられなくなった。この傾向は、地点 2 の定点観測では比較的明瞭であったが、地点 5 の定点観測では、漂着するゴミの量が少なく、あまり明瞭ではなかった。

また、大潮時に風速や波高が大きい時期が重なれば、漂着するゴミの量も多くなるものと想定し、潮汐との関連性の解析を試みたが、特に明瞭ではなかった。

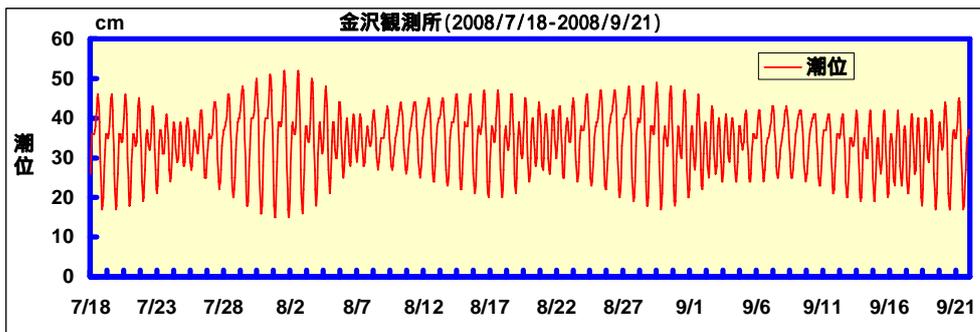
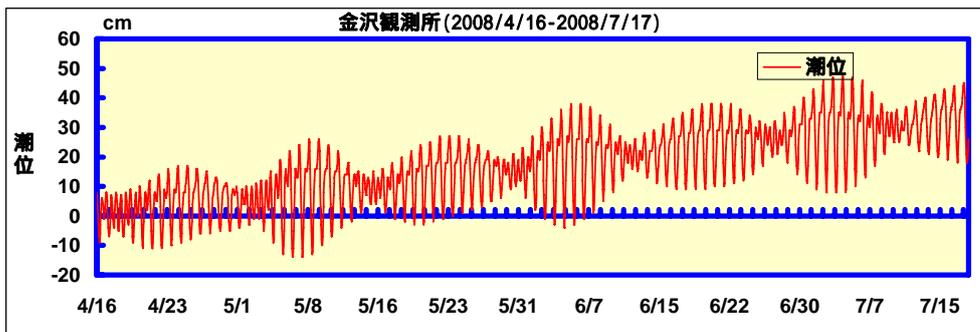
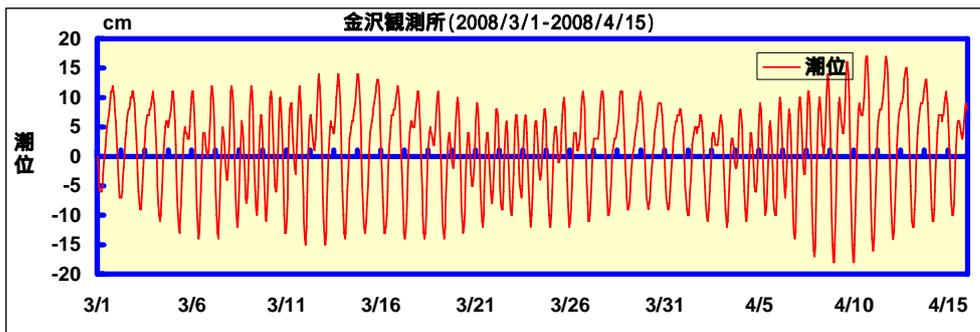
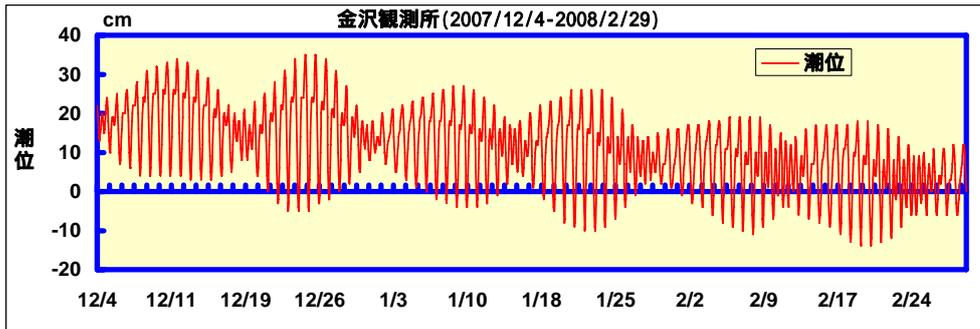
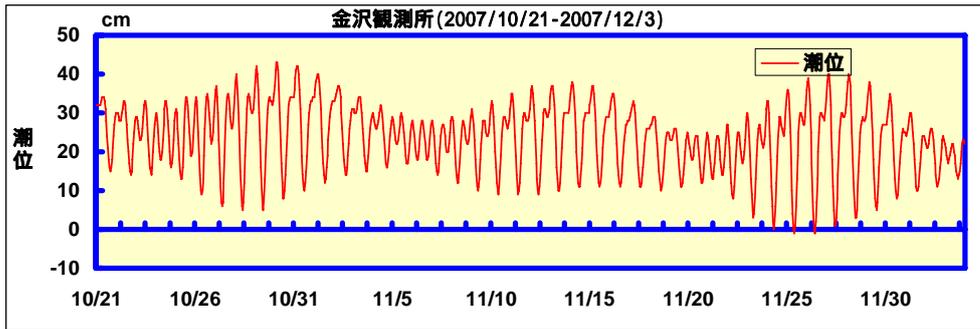


図 4.3-13 潮位の時間変動（第1回～第6回）

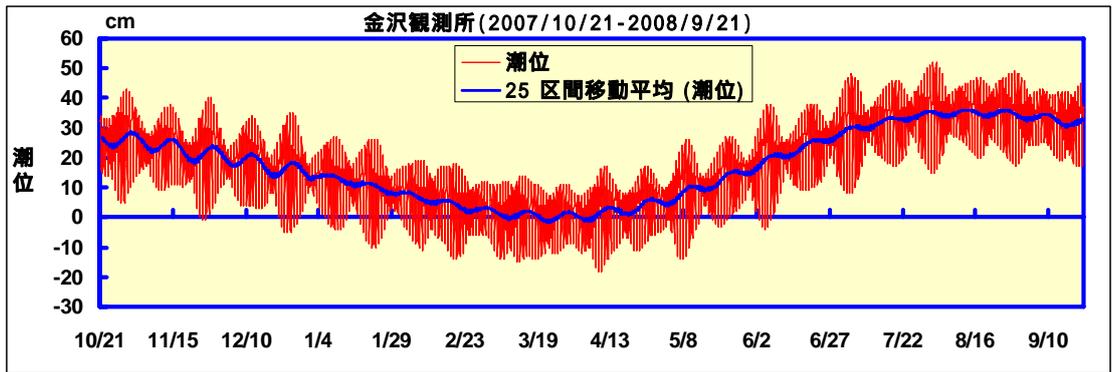


図 4.3-14 潮位の時間変動 (共通調査期間)

#### d. 豪雨等と漂着ゴミ量との関連性

第5回調査(2008年7月)の直前の7月4日夜間の集中豪雨や、第6回調査(2008年9月)前の7月28日と8月下旬のまとまった降雨後の状況を、定点観測写真で確認した。

第5回調査(2008年7月)の7月4日については、柴垣海岸(地点2)では、39枚目(2008年7月2日)で「評価△(やや漂着)」、40枚目(2008年7月2日)で「評価△(やや漂着)」であり、それほど大量の漂着はみられなかった。しかし、同時に撮影していた汀線側の写真を図4.3-15に示すが、これでは大量の漂着が確認できた。また、同様に、羽咋一ノ宮海岸(地点5)では、39枚目(2008年7月2日)で「評価ー(ほとんど漂着なし)」、40枚目(2008年7月2日)で「評価△(やや漂着)」であり、この地点でもそれほど大量の漂着はみられなかったが、同時に撮影していた写真にみられるとおり、大量の漂着が確認できた。

第6回調査(2008年9月)前の7月28日と8月下旬のまとまった降雨後については、柴垣海岸(地点2)では、42枚目(7月23日)～46枚目(8月24日)まで「評価ー(ほとんど漂着なし)」であった。これは、第6回調査(2008年9月)では、地点2に大量のヨシの漂着はみられなかったことと一致していた。

羽咋一ノ宮海岸(地点5)では、42枚目(7月23日)～45枚目(8月13日)まで「評価ー(ほとんど漂着なし)」であり、46枚目(8月24日)で「評価×(かなり漂着)」であった。この地点でもそれほど大量の漂着はみられなかったが、同時に撮影していた写真にみられるとおり、内陸側に大量の漂着が確認できた。

したがって、汀線側や内陸部のゴミは、砂浜の中央部からの撮影では、画角の関係で近景では捉えにくかった。今回は汀線に垂直なラインに沿って5、6枚の写真撮影を行っていたことが幸いし、これらを確認できた結果となった。このような方法を用いた調査の仕様の参考となる1事例と考えられる。



柴垣海岸（地点2） 2008年7月11日  
汀線側には大量のヨシを主体とした漂着ゴミ



羽咋一ノ宮海岸（地点5） 2008年7月11日  
汀線側には大量のヨシを主体とした漂着ゴミ



羽咋一ノ宮海岸（地点5） 2008年8月24日  
内陸部に大量の漂着ゴミ  
潮位が高く波浪の強い時には内陸部に漂着



羽咋一ノ宮海岸（地点5） 2008年8月27日  
内陸部には大量のヨシを主体とした漂着ゴミ



羽咋一ノ宮海岸（地点5） 2008年9月3日  
内陸部に引き続きみられる漂着ゴミ

図 4.3-15 降雨後の状況写真

## (2) 河川水位との関連性の検討

一般に河川を通して陸域からのゴミが海岸に漂着しているといわれているため、河川水位の時間変動と漂着ゴミの量の変動との関連性を検討した。羽咋川の水位データは、石川県土木部河川課から羽咋市的場観測所のデータの提供を受けた。

第1回調査(2007年10月)～第6回調査(2008年9月)の調査期間の水位の時間変動を、図4.3-16に示す。2007年11月の末頃から2008年3月中頃まで、データは欠測になったと思われる。これら以外の期間では、冬季には0.5m程度で、春季から夏季にかけて1.0m程度となり、夏季には1.5m程度の水位となった。

また、共通調査期間を含む最近5年間の水位の時間変動を図4.3-17に、各期間で積算した水位の日平均値を図4.3-18に示す。

まず、2004年に欠測が、2004年と2005年に水位11mとなる不可解なデータがあり、測定機の故障などが考えられた。図4.3-18で、これらと先に述べた本調査期間中の欠測も考慮すると、最近5年間の変動から平年どおりの水位であったと判断することはできない。

第1回調査(2007年10月)～第6回調査(2008年9月)の調査期間の羽咋観測所の降水量の時間変動を、図4.3-19に示す。第1回調査(2007年10月)と第2回調査(2007年12月)の期間で、11月中旬から下旬かけて降水がみられた。これを図4.3-16の水位で確認すると、11月上旬よりも高くなっていた。同様に、2008年7月4日前後や7月28日、8月中旬の降水について、水位を確認すると、やはり、前後の水位と比べて高くなることが確認された。しかしながら、その水位の上昇量はあまり大きくはなく、逆に、水位から見て、降水の有無を確認することは難しいものと思われる。

その理由としては、図4.3-20に示すように、羽咋市周辺に降った雨は、羽咋川を流下して、羽咋市内の邑知潟(おうちがた)に流入する。その下流には潮止水門があり、流量と水位を調節している。水位の観測地点は、その下流の地点(羽咋病院の近傍)である。したがって、降水は一度邑知潟に貯水・調整された後に、水位のデータを取得している場所を流下するためと考えられる。

したがって、このような現地の状況があるため、河川水位と漂着ゴミとの関連性は、認められなかった。

降水との関係についてさらに考察すると、文献調査結果からは、羽咋川の幹川流路延長は3.1kmで、支川数は13で流路延長は約67kmであった。1支川の平均流路延長は約5kmと短い。したがって、羽咋川流域に降った雨は比較的速やかに羽咋川水系を流下して、日本海(あるいは邑知潟)に流出すると考えられる。漂着ゴミと降水量との関連性が認められる可能性は高いと考えられる。

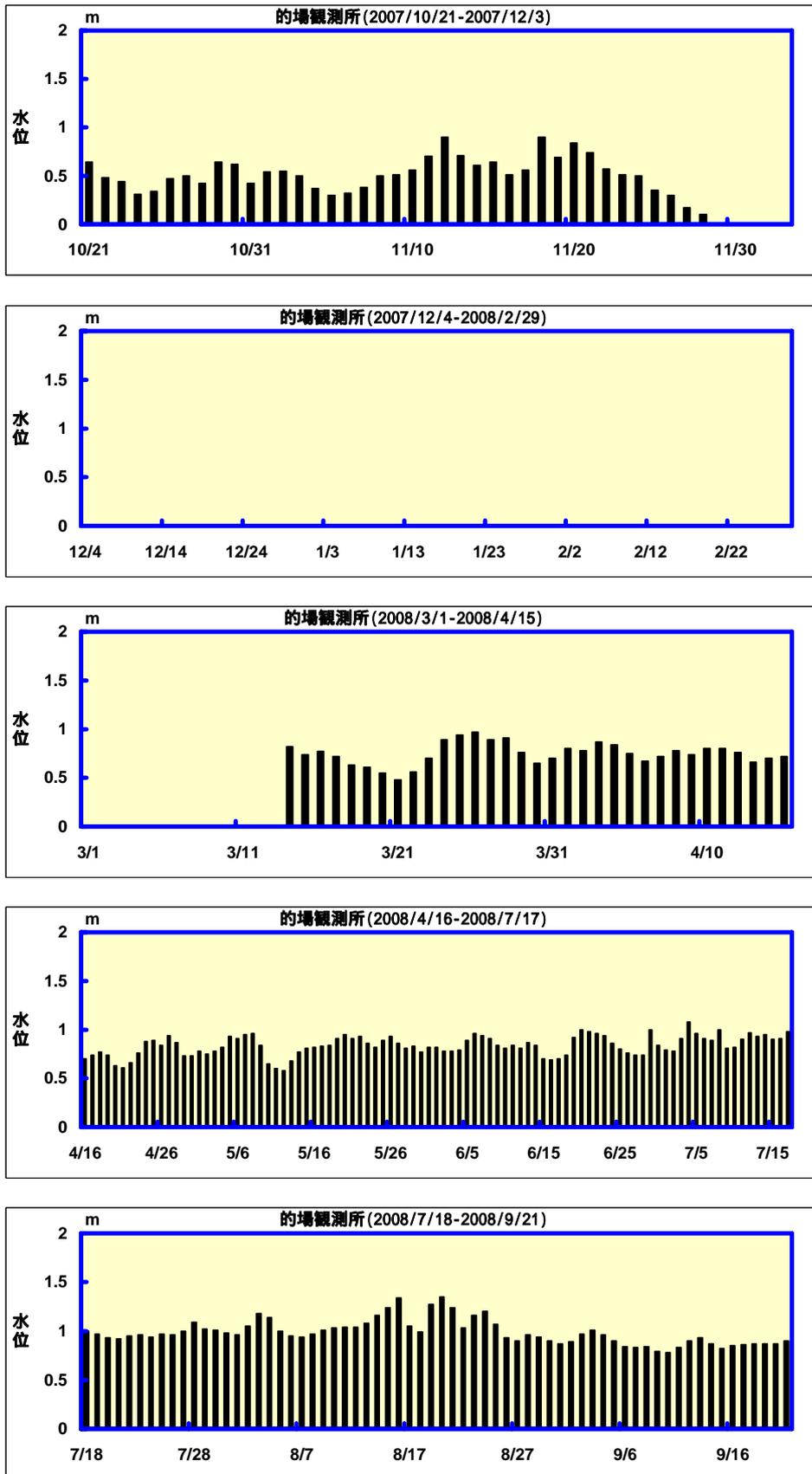


図 4.3-16 水位の時間変動 (第 1 回 ~ 第 6 回)

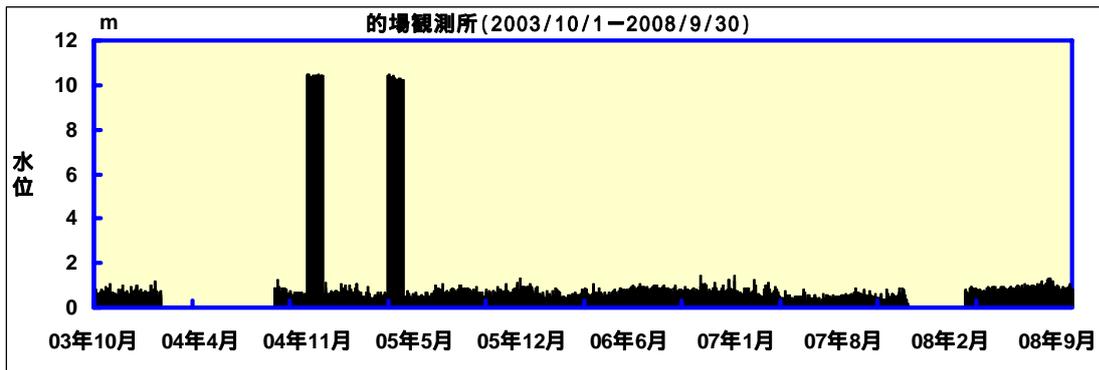


図 4.3-17 最近 5 年間の水位の時間変動

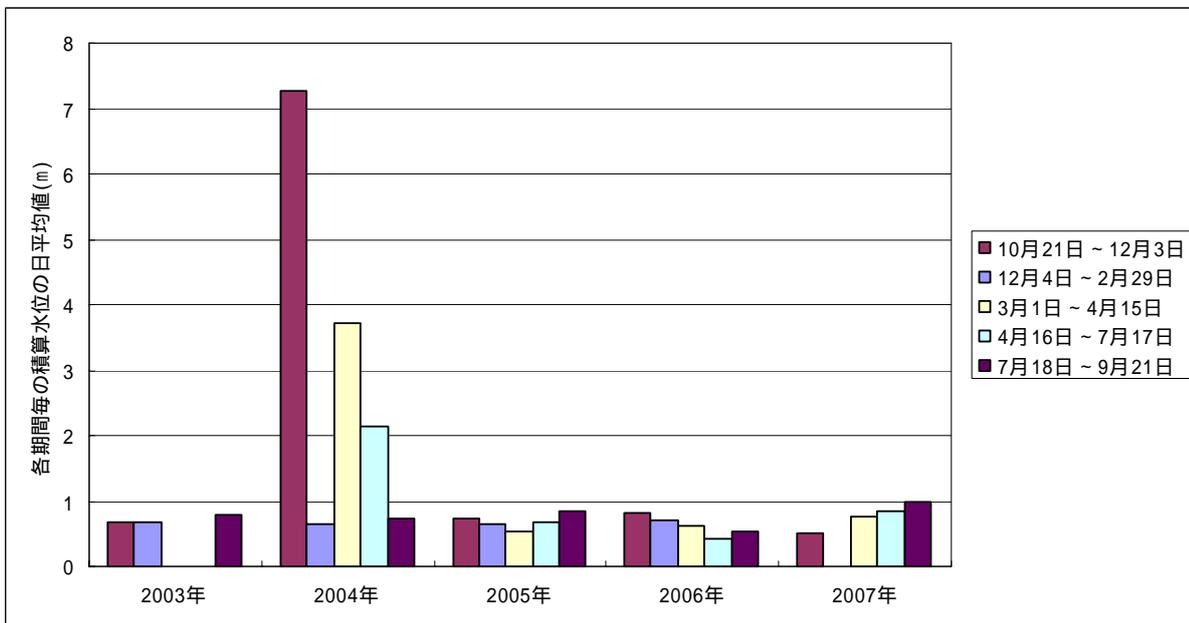


図 4.3-18 最近 5 年間の積算水位の状況

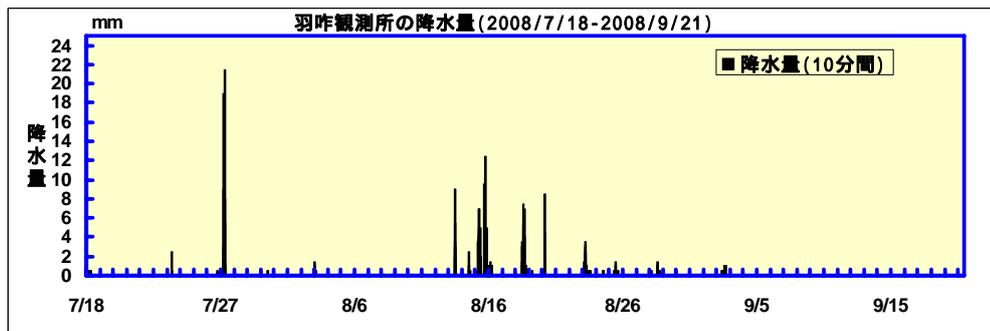
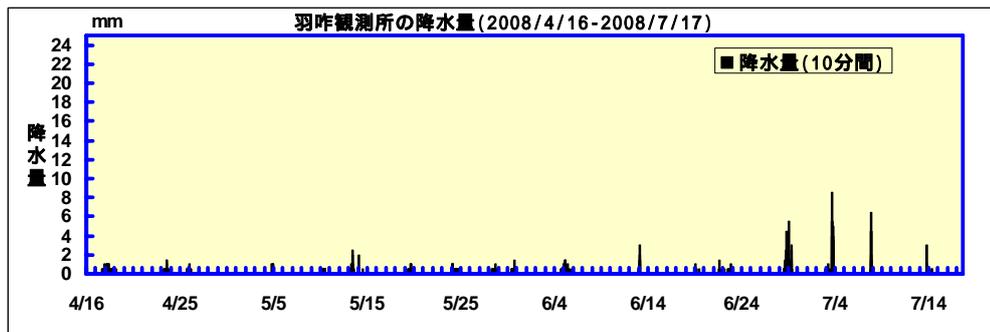
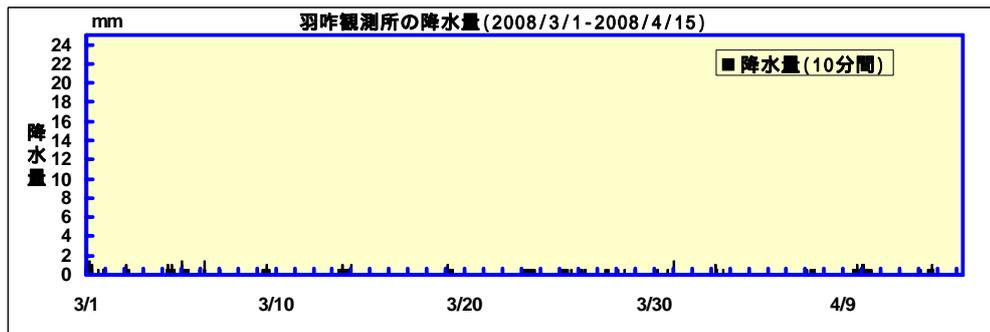
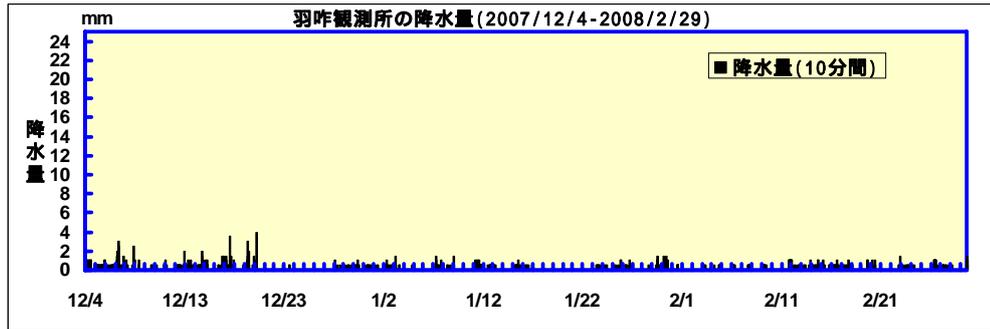
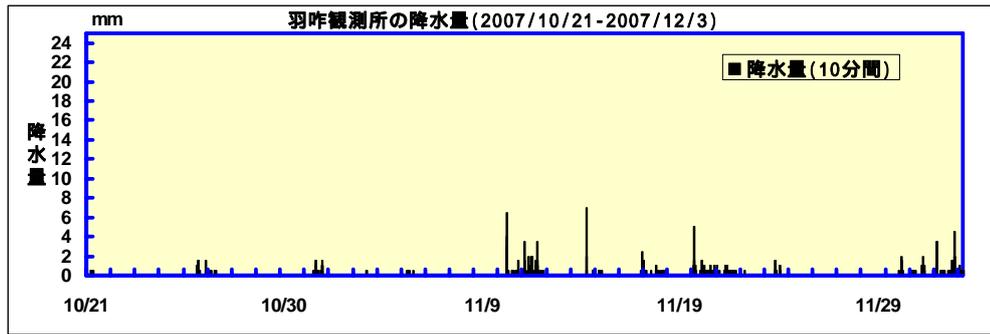


図 4.3-19 降水量の時間変動(第1回~第6回)



羽咋川の邑知潟



羽咋川の潮止水門

図 4.3-20 羽咋川の邑知潟と潮止水門

### (3) 対馬暖流の変動との関連性の検討

対馬暖流（主に第一分枝流）の時間変動とゴミの量の関連を調べるために、海上保安庁発行の海洋速報から、調査期間について1週間ごとに日本近海の流れの状況を図4.3-22に示した。石川県の海岸近くの流れの時間変動は、次のようであった。

9月5日～第1回調査（2007年10月）の期間には、石川県沖には対馬暖流の第一分枝流と思われる流れが石川県海岸沿いに明瞭に見られた。この流れは、山口県沖から石川県能登半島沖まで見られていた。その後の第2回調査（2007年12月）までも、明瞭に見られていた。その後の第3回調査（2008年3月）までは、1月16日までの前半では、やや明瞭であったが、その後はこの流れが見られなくなった。その後の第4回調査（2008年4月）までも、この分枝流は見られなかった。その後の第5回調査（2008年7月）までは、徐々に明瞭に見られるようになってきた。さらに、第6回調査（2008年9月）までは、9月3日にも明瞭に見られていたが、その後、徐々に見られなくなった。

この変動と図4.3-21に示したゴミの量の変動を比較した。ゴミの量は、第3回調査（2008年3月）が最も多く、第4回調査（2008年4月）は最も少なくなり、その後の第5回調査（2008年7月）から第6回調査（2008年9月）にかけて増加した。

この変動との関連として、第1回調査（2007年10月）と第2回調査（2007年12月）の間の期間で、第一分枝流は明瞭に見られており、この期間のゴミの量は多かった。しかし、その後、第3回調査（2008年3月）にかけて第一分枝流は不明瞭になったが、ゴミの量は多かった。また、第3回調査（2008年3月）から第4回調査（2008年4月）にかけて第一分枝流は不明瞭であったが、ゴミの量は少なかった。その後第一分枝流は明瞭になり、ゴミの量も多くなった。

以上のように、秋季から春季にかけては、第一分枝流と漂着するゴミの量の関連性がみられたが、春季から秋季にかけての関連性はあまりみられなかった。

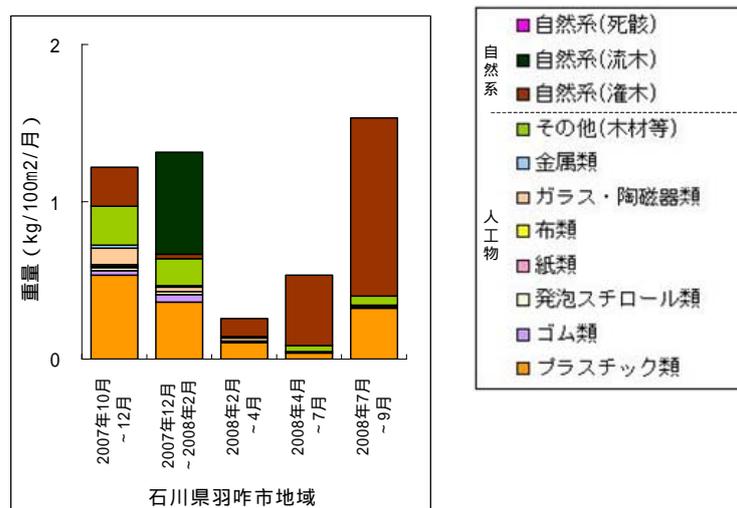


図 4.3-21 共通調査における漂着ゴミの重量の推移

(第2回調査～第6回調査、人工物+流木・灌木)



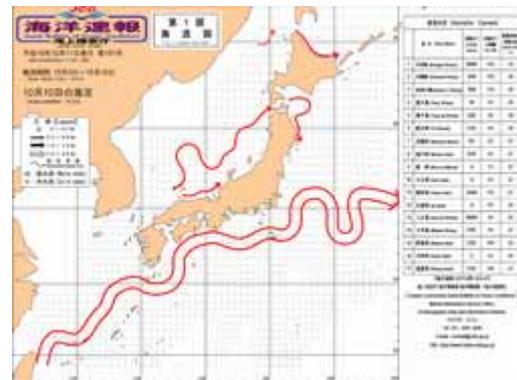
9月5日 ↓



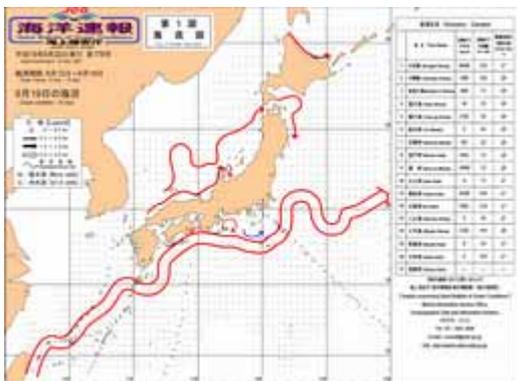
10月3日 ↓



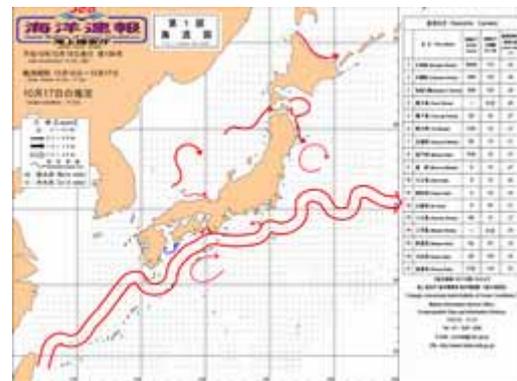
9月12日 ↓



10月10日 ↓



9月19日 ↓



10月17日 ↓



9月26日 ↓



10月24日 この直前に第1回調査を実施 ↓

図 4.3-22(1) 日本近海の海流の時間変動

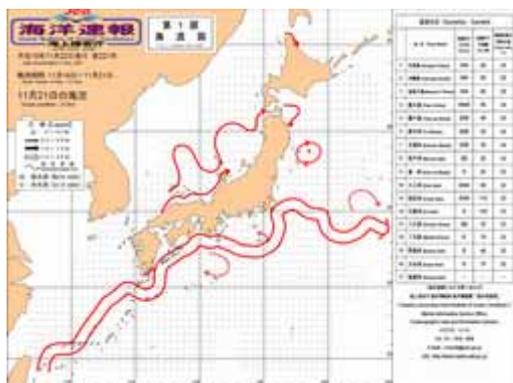
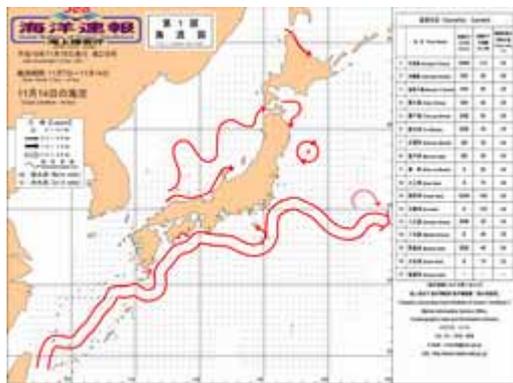
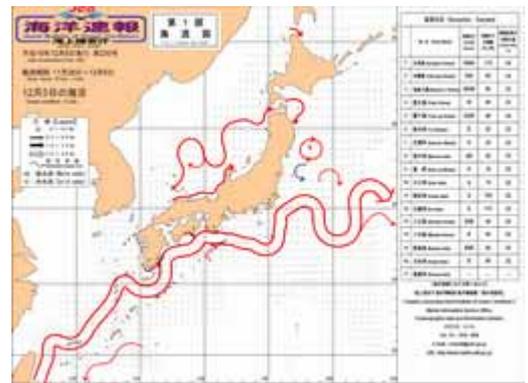
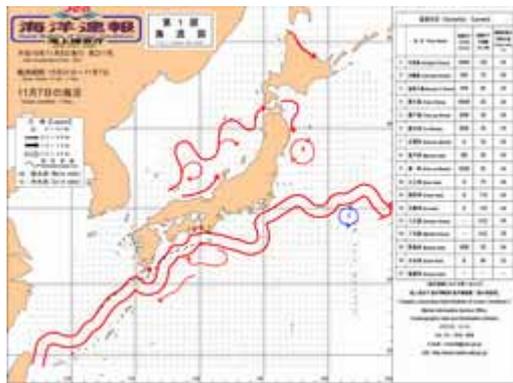
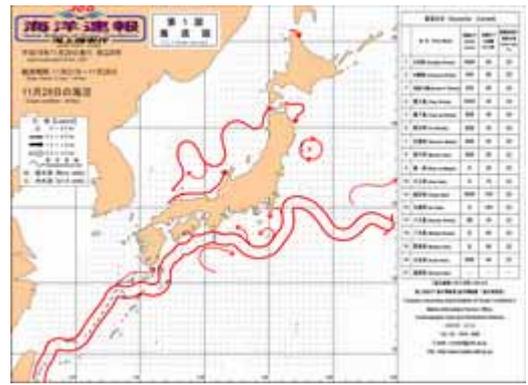
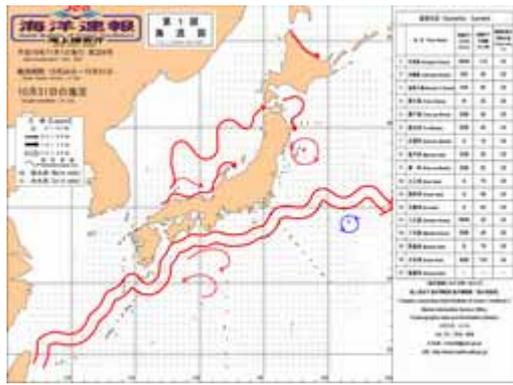
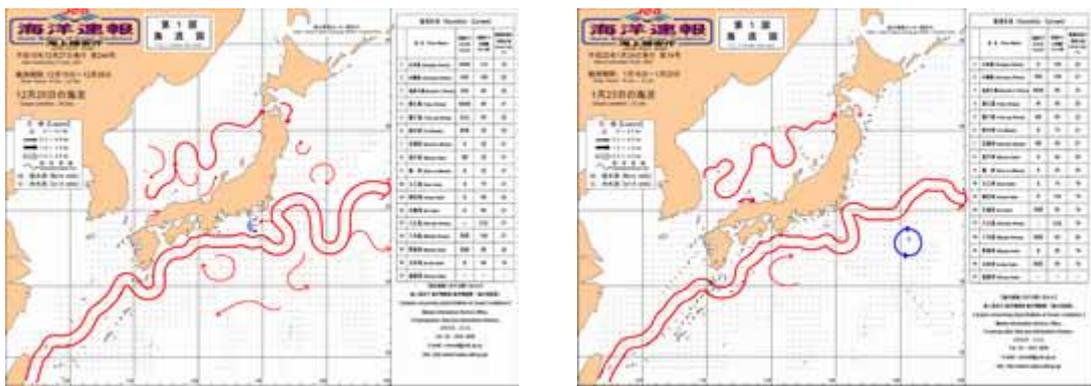


図 4.3-22 (2) 日本近海の流れの時間変動

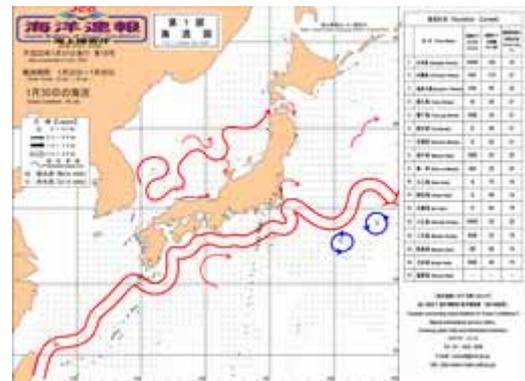


12月26日 ↓

1月23日 ↓



1月3日 ↓



1月30日 ↓



1月9日 ↓



2月6日 ↓

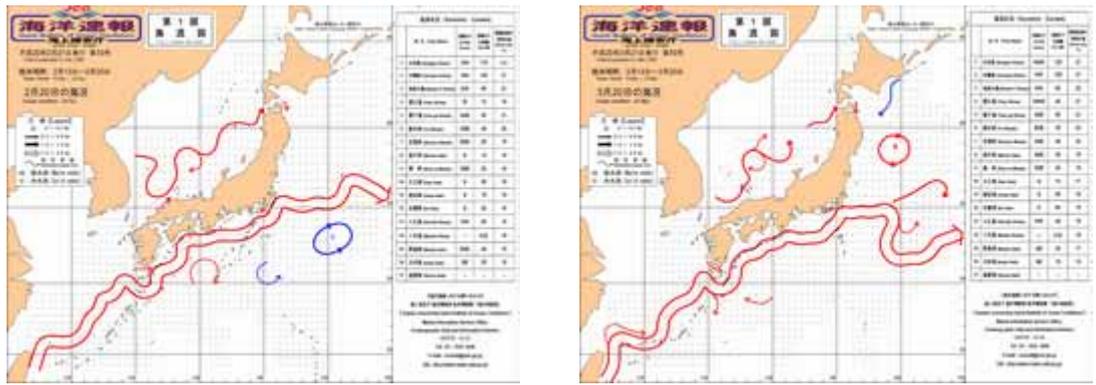


1月16日 ↓



2月13日 ↓

図 4.3-22 (3) 日本近海の流れの時間変動



2月20日 ↓

3月20日 ↓



2月27日 ↓



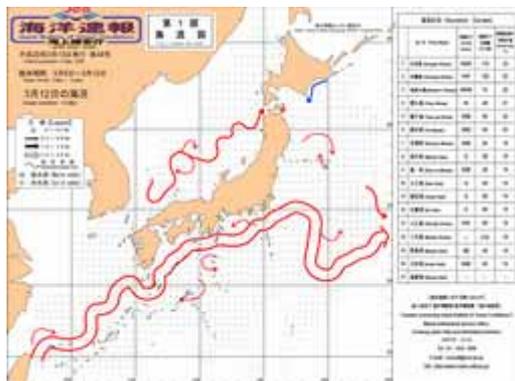
3月26日 ↓



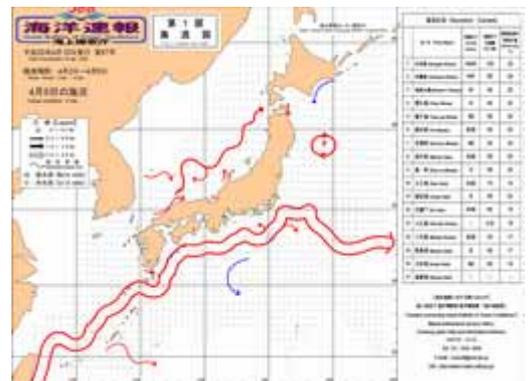
3月5日 この直前に第3回調査を実施 ↓



4月2日 ↓

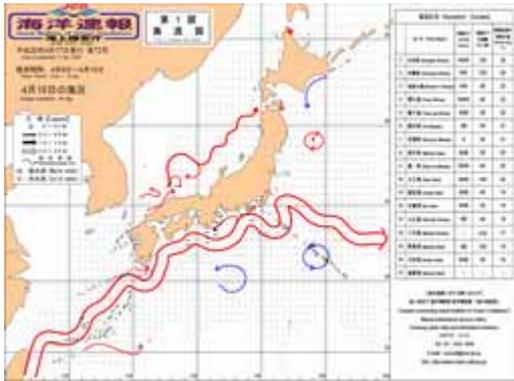


3月12日 ↓



4月9日 ↓

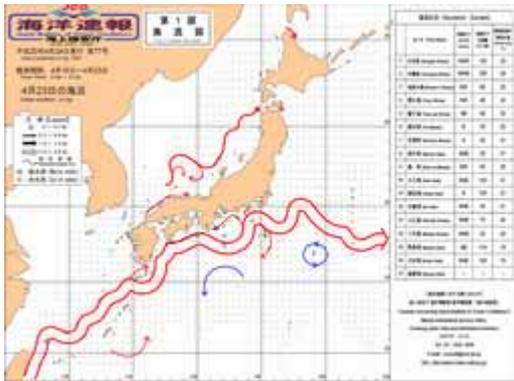
図 4.3-22 (4) 日本近海の流れの時間変動



4月16日 この日に第4回調査を実施 ↓



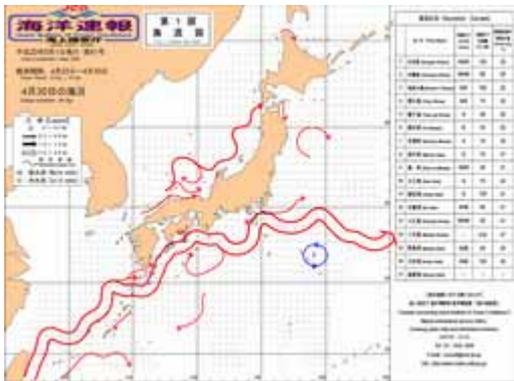
5月14日 ↓



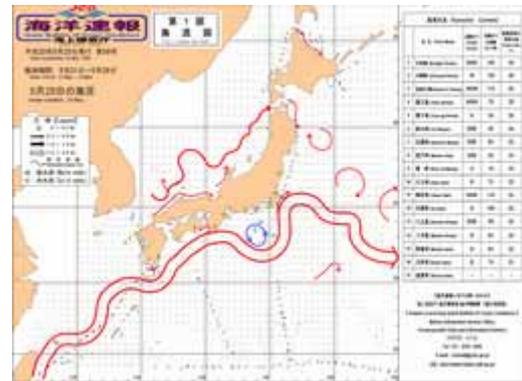
4月23日 ↓



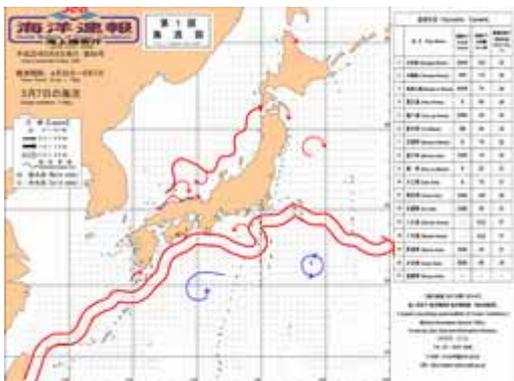
5月21日 ↓



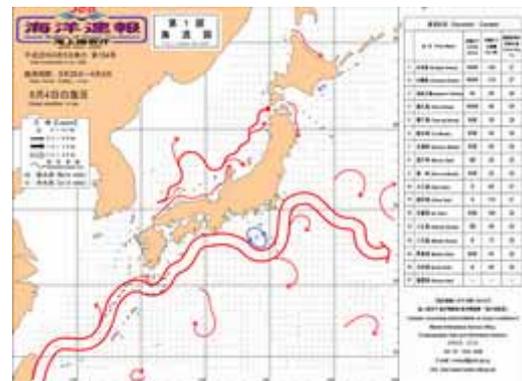
4月30日 ↓



5月28日 ↓

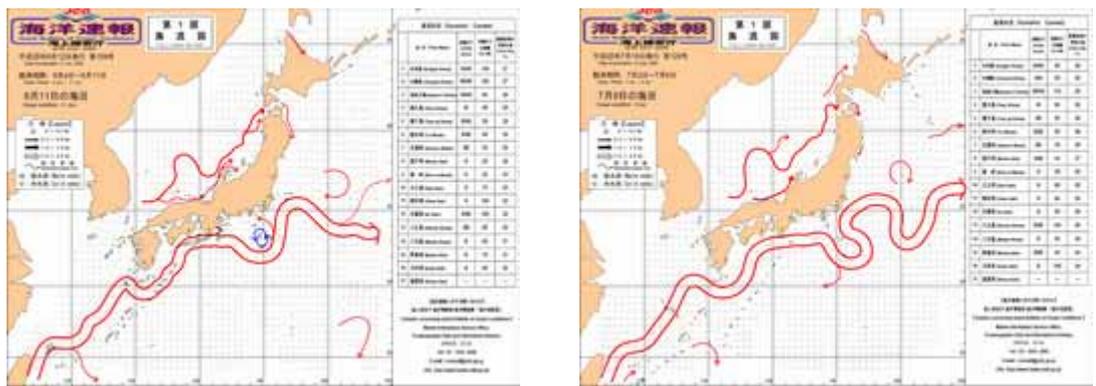


5月7日 ↓



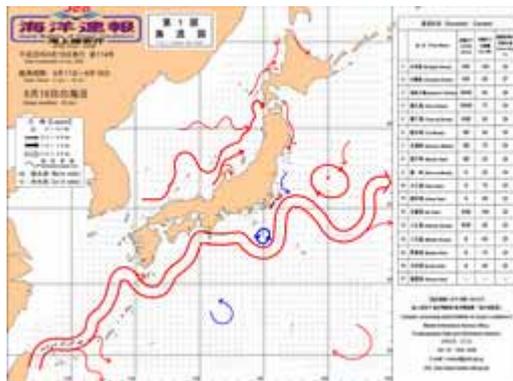
6月4日 ↓

図 4.3-22 (5) 日本近海の海流の時間変動

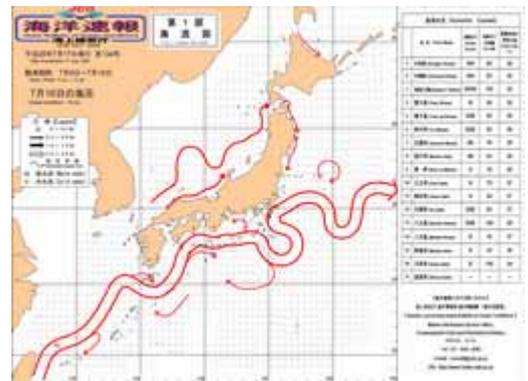


6月11日 ↓

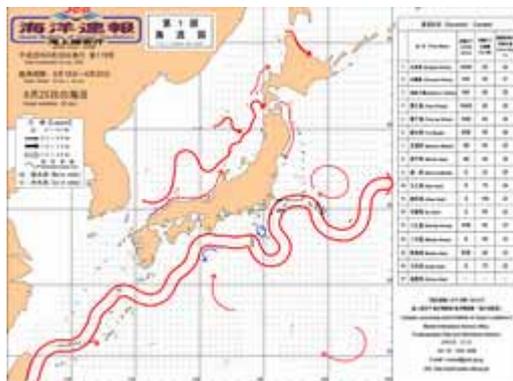
7月9日 ↓



6月18日 ↓



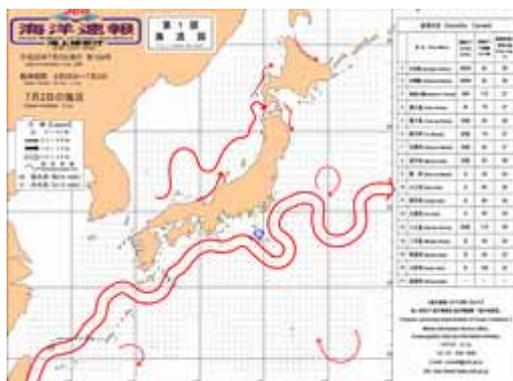
7月16日 ↓



6月25日 ↓



7月23日 この直前に第5回調査を実施 ↓



7月2日 ↓

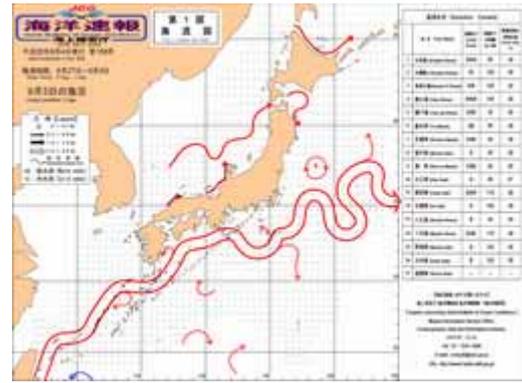


7月30日 ↓

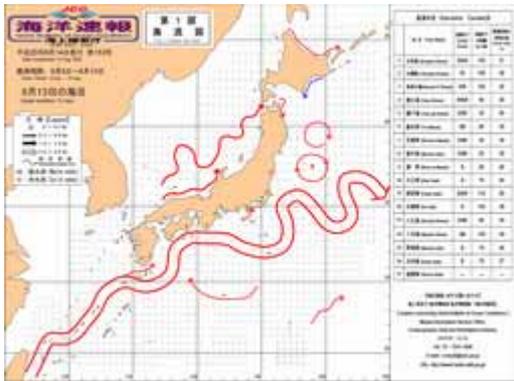
図 4.3-19 (6) 日本近海の海流の時間変動



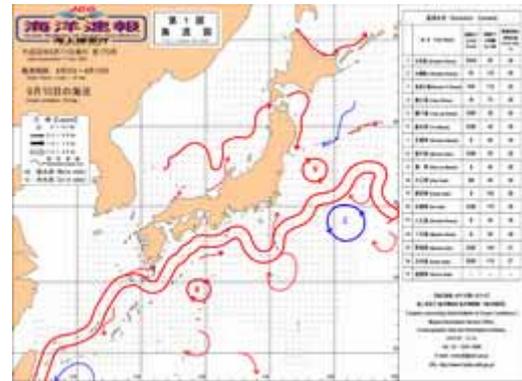
8月6日 ↓



9月3日 ↓



8月13日 ↓



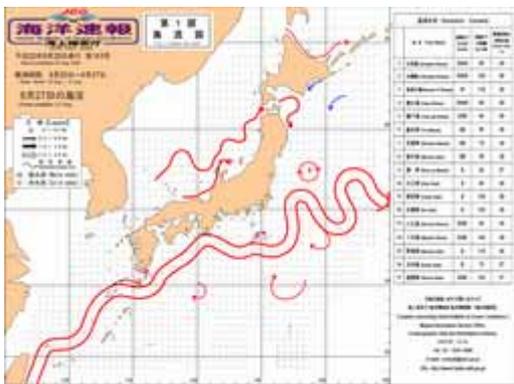
9月10日 ↓



8月20日 ↓



9月17日 ↓



8月27日 ↓



9月24日 この直前に第6回調査を実施

図 4.3-22 (7) 日本近海の海流の時間変動

## 5. 地域検討会の実施

### 5.1 目的

石川県羽咋市のモデル海岸における漂流・漂着ゴミを対象として、各地域の特性に応じた効果的、効率的な回収・運搬・処理手法の検討を行うため、調査結果やその解析の検討を通じて、地域の漂着ゴミ対策に資するために実施した。

### 5.2 地域検討会の構成

検討会は、金沢星稜大学人間科学部の池田幸應教授を座長として、モデル海岸が位置する石川県及び羽咋市の廃棄物対策部署及び関係部署、羽咋川を管理する国土交通省地方事務所、海岸関係部署の海上保安部、地元の海岸清掃活動の事務局、地域生活団体の代表を検討員として構成されている。地域検討会の検討員名簿を表 5.2-1 に示す。

なお、各検討員が出席できない場合は、可能な限り代理の出席をお願いした。また、期間の途中で人事異動等で委員の交代や、所属名称の変更等があった。

表 5.2-1 地域検討会（石川県）の名簿

検討員（五十音順、敬称略）	所 属
池 田 幸 應	金沢星稜大学人間科学部 教授
泉 敏 克	羽咋郡市広域圏事務組合リサイクルセンター 所長 →羽咋郡市広域圏事務組合 環境保全課 課長
井 上 卓 造 →中 川 達 雄	石川県土木部羽咋土木事務所 所長（第4回以降交代）
浦 上 豊 成	クリーン・ビーチいしかわ事務局 事務局長
川 井 康 子	羽咋生活学校 代表 →羽咋生活学校 元代表
坂 本 幸 彦	石川県農林水産部 次長兼水産課長
末 平 幸 司 →横 田 國 明	羽咋市建設課 課長（第4回以降交代）
西 久 司 →山 本 張 喜	羽咋市環境安全課 課長（第4回以降交代）
西 川 孝 蔵	石川県環境部廃棄物対策課 課長
宮 丸 克 巳	国土交通省北陸地方整備局金沢港湾・空港整備事務所 工務課 課長

### 5.3 議事内容

開催日時や主な議題等を表 5.3-1 に、開催状況を図 5.3-1 示す。第 1～4 回地域検討会は、調査計画及び調査結果の報告が主であったが、第 5 回、第 6 回は、それらの結果を踏まえた今後の対策や枠組み作りを記載した地域報告書の議論を行った。

なお、議事概要は参考資料に記載した。

表 5.3-1 地域検討会（石川県）の開催状況

検討会の名称	日時と場所	主な議題
第 1 回地域検討会	平成 19 年 9 月 6 日（木） 9:30～16:00 コスモアイル羽咋 第 1 研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年度調査の全体計画</li> <li>・概況調査計画</li> <li>・クリーンアップ及びフォローアップ調査計画</li> <li>・その他の調査計画</li> <li>・現地視察</li> </ul>
第 2 回地域検討会	平成 19 年 11 月 29 日（木） 14:00～16:00 コスモアイル羽咋 第 1、2 研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回委員会議事概要等</li> <li>・概況調査結果</li> <li>・クリーンアップ及びフォローアップ調査結果</li> <li>・その他の調査の進捗状況</li> <li>・今後のスケジュール</li> </ul>
第 3 回地域検討会	平成 20 年 2 月 26 日（火） 10:00～11:40 石川県地場産業振興センター 第 6 研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回委員会議事概要等</li> <li>・概況調査結果</li> <li>・クリーンアップ及びフォローアップ調査結果</li> <li>・その他の調査の進捗状況</li> <li>・今後の検討事項</li> <li>・今後のスケジュール</li> </ul>
第 4 回地域検討会	平成 20 年 6 月 3 日（火） 10:00～12:00 石川県地場産業振興センター 第 6 研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回委員会議事概要等</li> <li>・平成 20 年度実施計画</li> <li>・クリーンアップ及びフォローアップ調査結果</li> <li>・その他の調査の進捗状況</li> <li>・地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方</li> </ul>
第 5 回地域検討会	平成 20 年 11 月 28 日（金） 14:00～17:00 石川県地場産業振興センター 第 13 研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回委員会議事概要等</li> <li>・地域における調査結果</li> <li>・地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見</li> <li>・地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方</li> </ul>
第 6 回地域検討会	平成 20 年 2 月 9 日（月） 14:00～16:00 コスモアイル羽咋 第 1、2 研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回委員会議事概要等</li> <li>・地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見</li> <li>・地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方</li> </ul>



第 5 回地域検討会（平成 20 年 11 月 28 日）



第 5 回地域検討会（平成 20 年 11 月 28 日）

第？回地域検討会（平成 年 月 日）

図 5.3-1 地域検討会（石川県）の開催状況